



2020年4月1日

各位

株式会社 岩手銀行

## 地域商社事業を営む銀行業高度化等会社の認可取得及び設立に関するお知らせ

株式会社岩手銀行（頭取 田口幸雄）は、2020年3月16日に公表いたしました「地域商社事業を営む銀行業高度化等会社（注1）の設立に関するお知らせ」につきまして、このたび関係当局の許認可等を取得し、地域商社「manordaiいわて株式会社」（以下、「新設会社」といいます）を設立いたしましたので、下記のとおりお知らせします。

### 記

#### 1. 新設会社の概要

商号	manordaiいわて株式会社
代表者	菊地 文彦
本社所在地	岩手県盛岡市中央通一丁目2番3号（岩手銀行本店2階）
資本金	70百万円
株主構成	株式会社岩手銀行 100%
従業員数	3名
設立日	2020年4月1日
開業予定	2020年6月

#### 2. 新設会社の会社名及び事業概要

別紙をご参照ください。

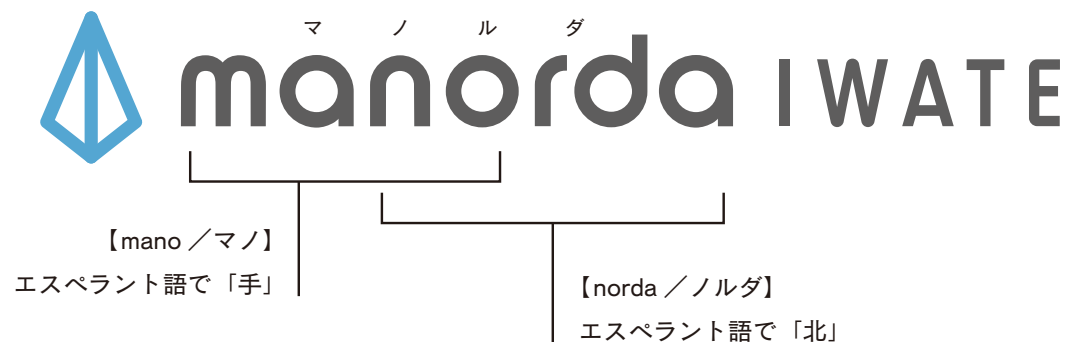
注1：銀行法第16条の2第1項 第12号の3に規定された銀行の子会社

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

岩手銀行 総合企画部 広報CSR室 小巖 TEL019-624-8212

**岩手銀行**



かつて宮沢賢治は『農民芸術概論綱要』で、「世界ぜんたいが幸福にならないうちは個人の幸福はあり得ない」と記しました。企業にとって、SDGs (持続可能な開発目標) や CSV (共通価値の創造) などの取り組みは、まさにその思想を過去から未来へ繋げるものです。「manordaいわて」は、「北」に生きる人々が共に「手」を取り合い、持続可能な世界の実現と地域社会の価値創造に取り組んでまいります。

【エスペラント (語) とは】 世界共通語として考案された言語で、宮沢賢治も学んでいました。「イーハトーヴォ」「モリーオ」などは、エスペラントをもじった言葉です。

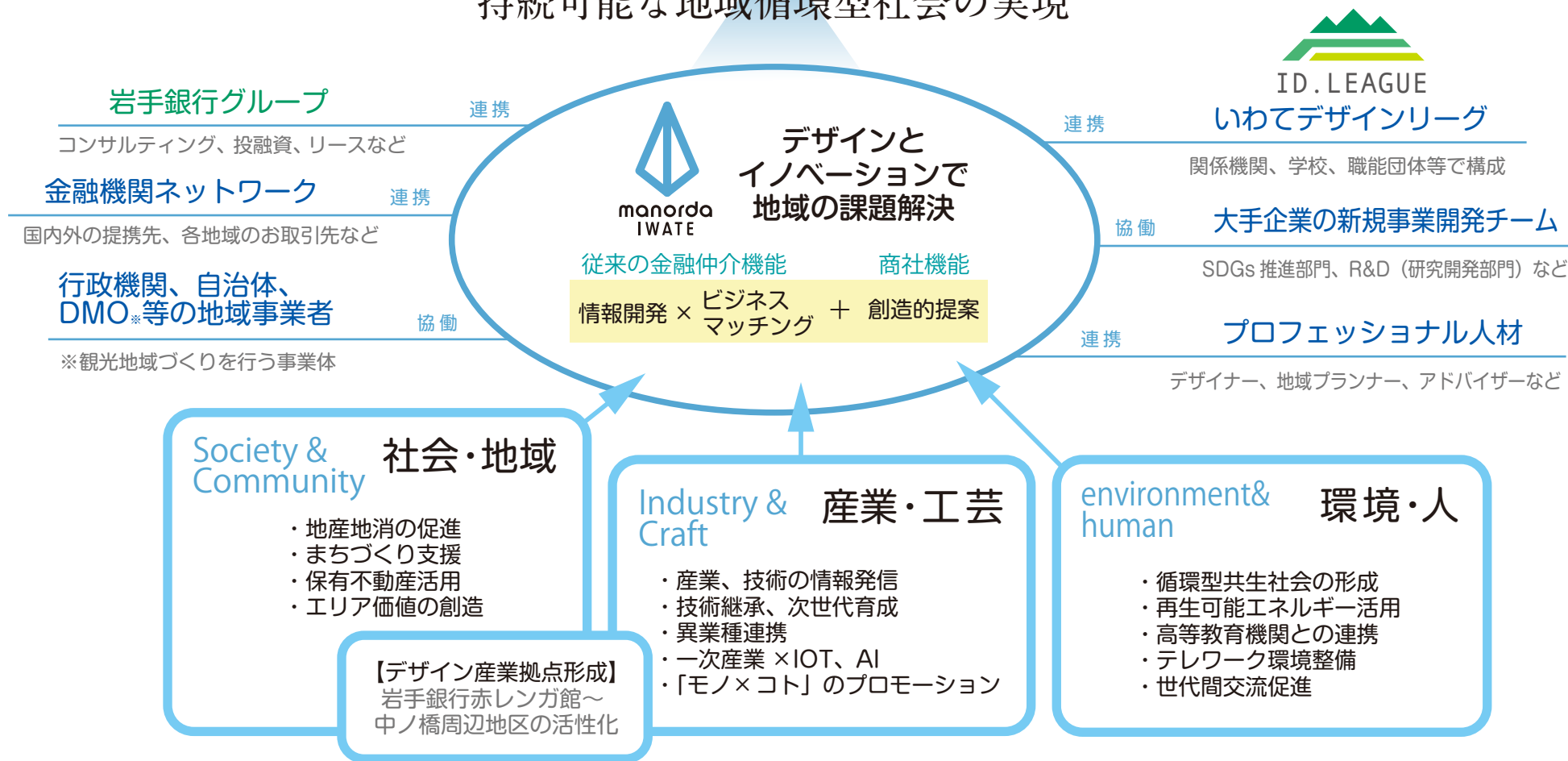
シンボルマークについて



「手」が作り出した原初の道具である「石器」をモチーフに、「北」「進行方向」をシンボライズしています。

地域商社「manorda いわて」は、岩手銀行グループの情報ネットワークと経営資源を最大限に活用し、地域活性化プロジェクトの企画・運営を通じて生み出される「経済価値」と「社会価値」が新たな産業と需要の創出を促す、持続可能な地域循環型社会の実現を目指してまいります。

### 新たな価値の創造 持続可能な地域循環型社会の実現



## 「地域デザイン商社」として、銀商一体で 課題解決策を提供する `manordaモデル` を構築

manorda モデル A



銀行員が商社を兼務する「銀商マン」となって、商社員の立場で地域内ビジネスの源泉に関与することで、銀行本体のビジネスモデル変革と行員の行動改革を促します。

manorda モデル B



SDGs ※1 やCSV ※2 施策に連動したソーシャルインパクト事業により地域の持続可能性を高め、地域に内外からのESG投資 ※3 を呼び込みます。

manorda モデル C



中長期的には、商社事業の拡大とデジタル技術の活用により、スピノフ事業を生み出すマザーカンパニーを指向します。

注1. SDGs : 2015年6月、国連で採択された持続可能な開発目標、193の国・地域が2030年までに達成を目指す

注2. CSV : Creating Shared Value:共通価値の創造、社会課題を解決することによって社会価値と経済価値を創り出す経営モデル

注3. ESG投資 : 環境(Environment)、社会(Social)、企業統治(Governance)の3つの要素に着目して、優れた取り組みを行う企業に対して行われる投資

### 地域の持続的発展を支援

- 1, 営業代行による新マーケット創出、新ビジネスのコーディネート
- 2, 「デザイン経営」思考に基づく企業ブランディング(CI)の基盤構築、地域ブランド開発
- 3, 保有不動産活用によるエリア価値の向上
- 4, 地域課題解決に向けた域内循環型プラットフォームの企画、運営

※「デザイン経営」とは  
経済産業省・特許庁が推進する、デザイン  
の力をブランドの構築やイノベーション  
の創出に活用する経営手法。その本質は、  
人(ユーザー)を中心に考えることで、根本  
的な課題を発見し、これまでの発想にと  
らわれない、それでいて実現可能な解決  
策を、柔軟に反復・改善を繰り返しながら  
生み出すことと定義されています。